

授業科目

特別活動研究Ⅰ

| | | | | |
|------------------|------|----|------|----|
| 【担当教員名】 遠山 孝司 | 対象学年 | 2 | 対象学科 | スポ |
| | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 選択 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 15 |

【ディプロマポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| ◎ | ○ | ○ | ○ | ○ |

【概要・一般目標：G10】

学校教育の大きな目的の一つに「人間形成」というものがある。これは、各教科や道徳の授業によってのみなされるものではない。特別活動、中でも集団活動を内容とする特別活動を含む学校教育全般の中で子どもたちは集団や社会の一員として生きていくために不可欠な知識、技術、態度、行動、価値、規範を身につける。

本講では様々な特別活動の特徴を理解し、それらの具体的な運営方法や評価方法を習得することを目的とする。

【学習目標】

特別活動の各活動の特徴と共通点を理解する。

自らが教師として各特別活動を運営するための基礎的な知識やノウハウを習得する。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
|----|------------|-----------|----------------------|
| 1 | 学級活動 1 | | 講義と小テスト |
| 2 | 学級活動 2 | | 講義と課題 |
| 3 | 児童会・生徒会活動 | | 講義と課題 |
| 4 | 奉仕活動・体験活動 | | 講義と課題 |
| 5 | 総合的な学習の時間 | | 講義と課題 |
| 6 | 集団活動の実践 1 | | 体験活動と課題 |
| 7 | 集団活動の実践 2 | | 体験活動と課題 |
| 8 | 集団活動の実践 3 | | 体験活動と課題 |

| 【使用図書】 | <書名> | <著者名> | <発行所> | <発行年・価格 他> |
|-------------------|-----------|-------|-------|------------|
| 教科書 (必ず購入する書籍) | なし | | | |
| 参考書 | なし | | | |
| その他の資料 | 資料は適宜配布する | | | |

【評価方法】

出席状況・講義内のミニレポート・集団活動

の実践への参加状況などを総合して評価する。
講義内容を覚えた量ではなく、講義内容を活かして考え、表現した内容を評価する。

【履修上の留意点】

初回授業時に周知する。

特別活動研究Ⅰを踏まえての内容が多いため、履修者には特別活動研究Ⅰを履修中か履修済みであることを求める。